



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
（奈良県保健環境研究センター内）
N a r a I D S C



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 全数把握対象感染症発生状況（平成 24 年 3 月） **NEW**
- 奈良県結核患者情報（平成 24 年 3 月） **NEW**



（調査週） 平成 24 年 第 15 週 4 月 9 日（月）～ 4 月 15 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	6.43	→～↑	→	→	↑
2	インフルエンザ	4.84	→～↓	↓	→～↓	→～↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.74	→～↓	↓	→～↑	↓
4	水痘	0.51	→	→	→	↑
5	流行性耳下腺炎	0.40	→	→～↑	→	→

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は 233 例で、前週報告の 226 例からほぼ横ばい。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④流行性耳下腺炎、⑤A 群溶連菌咽頭炎の順。感染性胃腸炎の報告数（96 例）は、増加。流行性耳下腺炎の報告数（7 例）は、やや増加。インフルエンザの報告数（107→104 例）は、ほぼ横ばい。水痘の報告数（9 例）も、ほぼ横ばい。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（6 例）は、やや減少。なお、インフルエンザ定点からの報告の内訳は、奈良市 HC 管内；48 例、郡山 HC 管内；56 例だった。眼科定点からの報告は、流行性角結膜炎が奈良市 HC 管内からのみ 1 例あったが、基幹定点からの報告は、奈良市 HC および郡山 HC 両管内共になかった。（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、255 例から 278 例と増加した。上位 5 疾患は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、A 群溶連菌咽頭炎、咽頭結膜熱、水痘の順であった。感染性胃腸炎は、99 例と横ばいであり、インフルエンザは 132 例と増加した。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。 (高木 記)

県南部地区概況 報告数(第 14 週→第 15 週)は 44 例→71 例と増加。報告のあった疾患は、①インフルエンザ(18 例→30 例)、①感染性胃腸炎(18 例→30 例)、③突発性発疹(0 例→3 例)、④A 群溶連菌咽頭炎(3 例→2 例)、④水痘(0 例→2 例)、⑥RS ウイルス感染症(4 例→1 例)、⑥伝染性紅斑(0 例→1 例)、⑥流行性耳下腺炎(0 例→1 例)、⑥流行性角結膜炎【眼科定点】(0 例→1 例)であった。 (柳生 記)

【全数把握対象感染症発生状況(平成 24 年 3 月)】

平成 24 年 3 月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下の通りです。

3 月報告患者数(平成 24 年 4 月 20 現在)

類型	疾患名/保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	3月計
2 類	結核	6	9	3	6		1	25
5 類	アメーバ赤痢		1					1
5 類	後天性免疫不全症候群			1				1
5 類	梅毒		2					2

奈良県結核患者情報

奈良県感染症情報センターでは結核患者発生動向情報を提供しています。
今回は3月の新規届出状況をお知らせします。

表. 結核届出数 (平成23年4月～)

市町村		3月	総計	
北和	奈良市	6	80	
	大和郡山市		18	
	天理市	4	27	
	生駒市	3	34	
	平群町	1	5	
	三郷町		6	
	斑鳩町	1	7	
	安堵町		5	
中和	大和高田市	2	23	
	御所市		10	
	香芝市	2	21	
	葛城市		8	
	上牧町		8	
	王寺町		10	
	広陵町	1	10	
	河合町	1	3	
	橿原市	2	33	
	桜井市		11	
	宇陀市		6	
	三宅町		1	
	田原本町	1	7	
	高取町		2	
	明日香村		1	
	南和	吉野町	1	4
		大淀町		7
川上村			1	
五條市			14	
西吉野村			1	
野迫川村			1	
十津川村			1	
合計	25	365		

(4月20日現在)

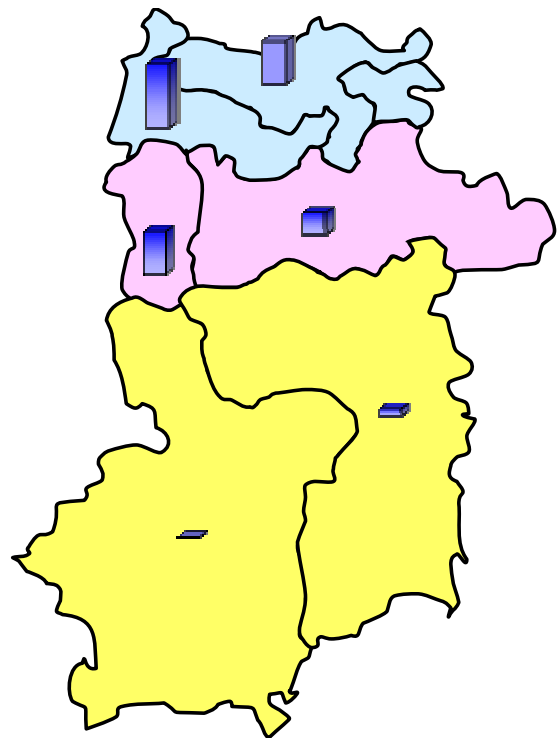


図. 保健所別届出数(3月受理分)

(感染症情報センター 記)